

千葉県公立高等学校入学者選抜の受検意向調査結果

1 実施校・実施人数

実施校 県内公立高等学校 129 校

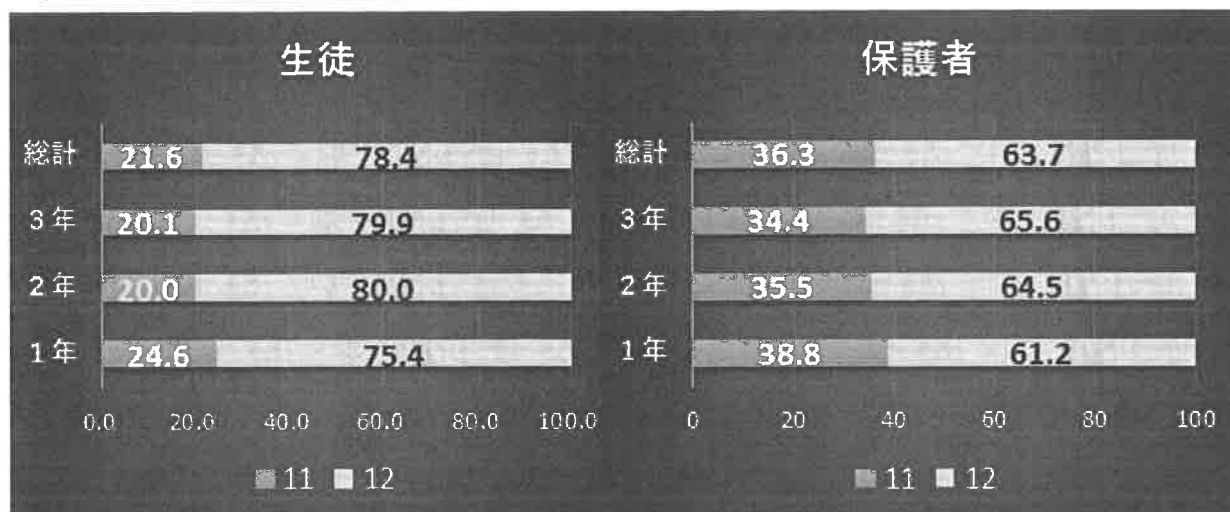
実施人数 生徒 14,599 人, 保護者 12,011 人

2 全体の傾向

11：1 回がよい。 12：複数回がよい。

実施人数及び 11, 12 を選択した割合

	生徒			保護者		
	人数	11	12	人数	11	12
1年	4,990	24.6	75.4	4,173	38.8	61.2
2年	4,850	20.0	80.0	3,977	35.5	64.5
3年	4,759	20.1	79.9	3,861	34.4	65.6
全体	14,599	21.6	78.4	12,011	36.3	63.7



「1回がよい。」と回答した高校2年, 3年の生徒の割合は約20%であるが, 1年については, 約5ポイント高い24.6%であった。これは, 下の<参考>にある中3生徒(平成25年2~3月)の24.2%とほぼ同じである。

「1回がよい。」と回答した高校3年の保護者の割合は34.4%, 2年については, 約1ポイント高い35.5%, また, 1年については, 約4ポイント高い38.8%であった。この1年の結果は, 下の<参考>にある中3保護者(平成25年2~3月)の33.2%と比べると, 約5ポイント高い結果となっている。

<参考> 千葉県公立高等学校入学者選抜制度のアンケート結果 (平成25年2月下旬~3月下旬実施)

	中3生徒		中3保護者		高1保護者		中学校長		公立高校長		私立高校長	
	11	12	11	12	11	12	11	12	11	12	11	12
割合 (%)	24.2	75.8	33.2	66.8	21.9	78.1	65.6	34.4	90.2	9.8	89.8	10.2
人数 (人)	267	838	353	710	89	318	246	129	119	13	44	5

3 「1回がよい。」と回答した理由の割合（複数回答可）

21：一回で多くの人が合格でき、不合格になる人が減るから。

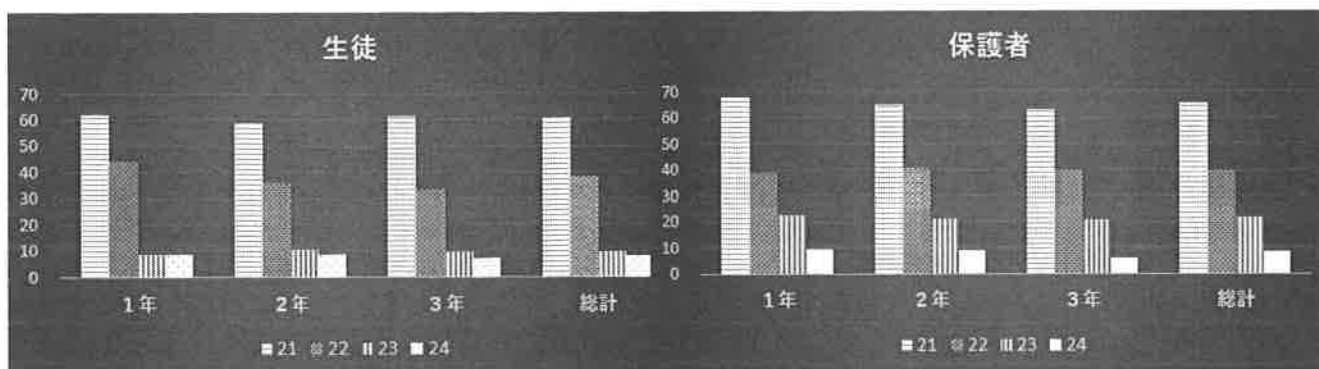
22：受験期間を短くできるから。

23：けがや病気等の対応は別の日程で行えばよいと思うから。

24：その他

「1回がよい。」と回答した人数及び選択した理由の割合

	生徒				保護者					
	人数	21	22	23	24	人数	21	22	23	24
1年	1,230	61.7	44.0	8.7	8.6	1,620	67.7	39.1	22.7	9.4
2年	971	58.7	36.1	10.3	8.7	1,410	64.9	40.5	20.8	8.8
3年	956	61.5	33.6	9.4	7.3	1,328	63.1	39.8	20.3	6.1
全体	3,157	60.7	38.4	9.4	8.2	4,358	65.4	39.8	21.3	8.2



生徒については、どの学年も同様の傾向がみられる。

21「一回で多くの人が合格でき、不合格になる人が減るから。」、22「受験期間を短くできるから。」、23「けがや病気等の対応は別の日程で行えばよいと思うから。」と回答した生徒全体の割合は、それぞれ、60.7%、38.4%、9.4%であった。

22「受験期間を短くできるから。」と回答した生徒の割合は、高校3年が33.6%、2年が36.1%、1年が44.0%と、学年が下に行くほど増加傾向にある。

24「その他」を選択し、意見を述べている生徒全体の割合は8.2%であった。

保護者についても、どの学年もほぼ同様の傾向がみられる。

21「一回で多くの人が合格でき、不合格になる人が減るから。」と回答した保護者の割合は、高校3年が63.1%、2年が64.9%、1年が67.7%と、学年が下に行くほど増加傾向にあり、保護者全体では65.4%であった。これは生徒全体より約5ポイント高い結果となっている。

22「受験期間を短くできるから。」と回答した保護者全体の割合は39.8%で、生徒全体の割合38.4%とほぼ同様の結果である。

23「けがや病気等の対応は別の日程で行えばよいと思うから。」と回答した保護者全体の割合は、生徒全体の約2倍にあたる21.3%となっている。

24「その他」を選択し、意見を述べている保護者全体の割合は8.2%であり、生徒全体の割合と同じ結果となっている。

「その他」で記述された主な意見とその割合

	生徒				保護者			
	全体	1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年
1回だと集中力が上がる。 意欲が高まる。	23.8	22.6	28.6	20.0	14.6	17.1	14.5	9.9
本当に進学したい志願者が集まる。 チャレンジする志願者が減る。	13.1	13.2	13.1	12.9	14.3	16.4	12.9	12.3
後期でランクを下げる者がいるため、 本当に入学したい志願者が合格できない。 前期合格者と後期合格者に学力格差が生じる。	9.2	8.5	9.5	10.0	8.7	11.8	7.3	4.9
前期で落ちた生徒と合格した生徒が 混在し、気を遣う。 クラスの雰囲気が悪くなる。	6.9	6.6	8.3	5.7	7.0	3.9	7.3	12.3
前期不合格で精神的ダメージを受ける。 後期に向けて気持ちを切り替えられない。	6.2	9.4	2.4	5.7	8.1	10.5	6.5	6.2
なんとなく1回がよい	5.4	2.8	7.1	7.1	7.6	5.9	8.9	8.6
1回であれば不合格にならなかった。 お金の無駄。	3.8	7.5	1.2	1.4	5.9	5.3	4.8	8.6
教育活動に余裕がでる。 学校の負担が減る。	2.7	1.9	2.4	4.3	3.9	5.3	3.2	2.5
専門学科は100%だから。 他県は1回だから。 昔は1回だったから。	1.9	3.8	0.0	1.4	2.5	0.7	4.0	3.7
同じレベルの生徒が集まりやすい。	1.5	1.9	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
前期の倍率が上がってしまう。	1.2	2.8	0.0	0.0	0.6	0.0	0.8	1.2
後期も前期と同じ学校を 受検する者が多い。 後期で前期と同じ学校・学科を 受検するのは複雑な思い。	0.8	1.9	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	0.0
前期発表まで、勉強に手がかからない。	0.8	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2回実施しても、合格できる 人数は変わらない。	0.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受験期間が長い。生徒の負担が大きい。	0.4	0.0	0.0	1.4	5.0	2.0	8.1	6.2
2度、不合格になってしまった ショックは計り知れない。	0.4	0.0	0.0	1.4	1.4	0.7	2.4	1.2
前期の選抜方法がよくわからない。	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	3.9	1.6	3.7

数値は、「24 その他」を選択した者の中で、どれくらいの割合があるのかを示している。

記述した意見については、生徒も保護者ともほぼ同様の結果となっており、割合の高い上位3項目は、「1回だと集中力が上がる。意欲が高まる。」、「本当に進学したい志願者が集まる。チャレンジする志願者が減る。」、「後期でランクを下げる者がいるため、本当に入学したい志願者が合格できない。前期合格者と後期合格者に学力格差が生じる。」と続いている。

「前期で落ちた生徒と合格した生徒が混在し、気を遣う。クラスの雰囲気が悪くなる。」の生徒全体の割合は6.9%、保護者は7.0%という結果であった。

「前期不合格で精神的ダメージを受ける。後期に向けて気持ちを切り替えられない。」については、生徒、保護者とも、高校1年の割合が高い。「1回であれば不合格にならなかった。お金の無駄。」については、高校1年の生徒が高い結果となっている。

4 「複数回がよい。」と回答した理由の割合（複数回答可）

31：第一志望の学校にチャレンジしやすいから。

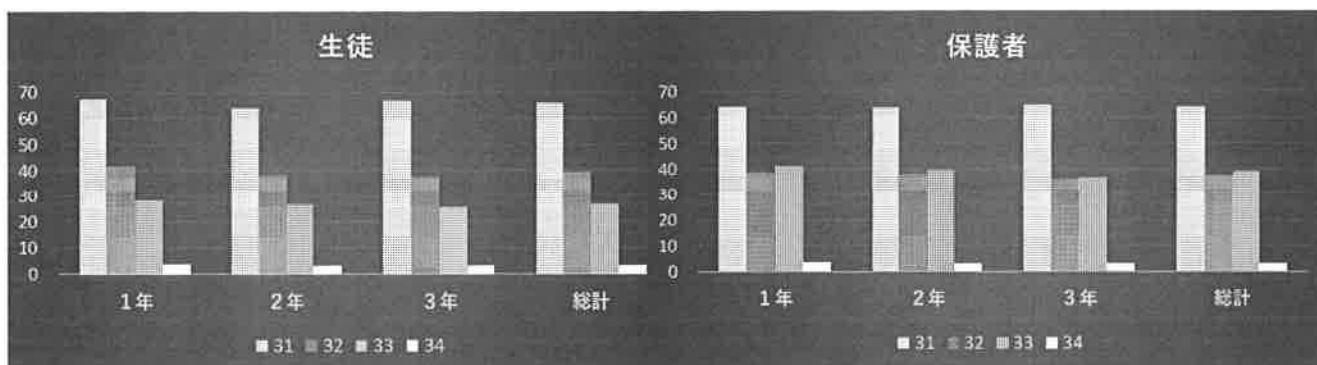
32：前期選抜の動向を見て、より慎重に受検校を選択することができるから。

33：前期選抜受検時に、けがや病気等（インフルエンザ等）があった場合でも、もう一度受検できるから。

34：その他

「複数回がよい。」と回答した人数及び選択した理由の割合

	生徒					保護者				
	人数	31	32	33	34	人数	31	32	33	34
1年	3,760	67.3	41.9	28.0	3.7	2,553	63.9	38.7	40.9	3.3
2年	3,879	63.9	38.4	26.7	3.2	2,567	63.4	38.3	39.4	3.0
3年	3,803	66.5	37.8	25.6	3.4	2,533	64.5	36.1	36.5	2.7
全体	11,442	65.9	39.4	26.8	3.4	7,653	64.0	37.7	39.0	3.0



生徒については、どの学年も同様の傾向がみられる。

31「第一志望の学校にチャレンジしやすいから。」、32「前期選抜の動向を見て、より慎重に受検校を選択することができるから。」、33「前期選抜受検時に、けがや病気等（インフルエンザ等）があった場合でも、もう一度受検できるから。」と回答した生徒全体の割合は、それぞれ、65.9%、39.4%、26.8%であった。

34「その他」を選択し、意見を述べている生徒全体の割合は3.4%である。

保護者についても、どの学年も同様の傾向がみられる。

31「第一志望の学校にチャレンジしやすいから。」、32「前期選抜の動向を見て、より慎重に受検校を選択することができるから。」、33「前期選抜受検時に、けがや病気等（インフルエンザ等）があった場合でも、もう一度受検できるから。」と回答した保護者全体の割合は、それぞれ、64.0%、37.7%、39.0%であった。

33「前期選抜受検時に、けがや病気等（インフルエンザ等）があった場合でも、もう一度受検できるから。」と回答した保護者全体の割合は、生徒全体よりも10ポイント以上高い結果となっている。

34「その他」を選択し、意見を述べている割合は3.0%である。

「その他」で記述された意見とその割合

	生徒				保護者			
	全体	1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年
後期があると（2回チャンスがあると）、安心感がある。心に余裕がでる。	42.4	46.4	38.9	41.4	39.7	37.3	41.0	41.2
私立を受検できない。 私立に進学できない。 公立に絶対進学したい。	9.4	9.3	6.3	12.5	16.2	20.5	12.8	14.7
休みが増える。	8.4	5.7	11.9	7.8	0.9	1.2	1.3	0.0
前期でチャレンジできる。	5.8	8.6	4.8	3.9	4.8	3.6	3.8	7.4
自分が後期で合格した。	4.1	1.4	4.0	7.0	3.5	2.4	2.6	5.9
不合格になる人数が減る。	2.0	5.0	0.8	0.0	0.4	1.2	0.0	0.0
体調不良や緊張により実力が発揮されない場合があるから。	1.8	2.1	3.2	0.0	2.2	3.6	2.6	0.0
なんとなく複数回がよい。	1.3	0.7	0.8	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
現行の制度を変えるべきではない。	1.3	0.7	2.4	0.8	5.7	8.4	6.4	1.5
1回だと、それを落ちたら 私立に行かなければいけない。	1.0	0.0	0.8	2.3	1.3	0.0	2.6	1.5
前期の検査は難しく、後期はやさしい。	0.5	0.7	0.8	0.0	0.4	0.0	0.0	1.5
後期でレベルを下げて受検するので、 結果、その学校のレベルが確保される。	0.3	0.7	0.0	0.0	1.3	3.6	0.0	0.0

数値は、「34 その他」を選択した者の中で、どれくらいの割合があるのかを示している。

記述した意見について、生徒、保護者とも、全体の割合が一番高かったのは、「後期があると（2回チャンスがあると）、安心感がある。心に余裕がでる。」であり、生徒全体が42.4%、保護者全体が39.7%であった。

生徒、保護者とも、次いで高いのが、「私立を受検できない。私立に進学できない。公立に絶対進学したい。」で、生徒全体が9.4%、保護者全体が16.2%であった。特に、1年の保護者が20.5%とかなり高い結果となっている。

「前期でチャレンジできる。」と回答した生徒は、3年が3.9%、2年が4.8%、1年が8.6%と、学年が下にいくほど増加傾向にある。

意見を記述した生徒の中で、全体の8.4%の者が、本質的とは言えない「休みが増える。」という理由を挙げている。

<参考> 平成28年度動向調査

前期・後期	学区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1~3	4~9	総計
前期選抜を受検した者		960	1,934	1,012	876	572	352	490	290	1,072	3,906	3,652	7,558
前期・後期ともに受検した者		405	836	429	371	145	97	127	75	424	1,670	1,239	2,909
前期・後期ともに同じ学校・学科を受検した者		210	446	259	222	117	60	85	68	268	915	820	1,735
前期・後期ともに受検した者に対する割合		51.9	53.3	60.4	59.8	80.7	61.9	66.9	90.7	63.2	54.8	66.2	59.6

5 前期選抜枠 100%の学科を有する学校についての考察

今回の意向調査では、任意の1クラスの生徒・保護者を対象としている。前期選抜枠が100%とそうでない学科を有する学校においては、どちらが調査対象になっているかわからない。よって、ここでは全ての学科とも前期選抜枠が100%である高等学校16校にしぼってまとめてみた。

専門学科及び総合学科の前期選抜枠の上限が100%と設定できるようになったのは、平成28年度入学者選抜（現高校2年生）からであり、いずれの学校も、平成28年度入学者選抜から全ての学科で、前期選抜枠を100%に設定している。

「1回がよい。」と回答した割合（全ての学科とも前期選抜枠100%に設定している学校）

	生徒					
	高校1年	高校2年	高校3年	2年-3年	1年-3年	1年-2年
全ての学科とも前期選抜枠100%に設定している学校(16校)	35.8	38.7	23.9	14.8	11.9	-2.9
全体 (129校)	24.6	20.0	20.1	-0.1	4.5	4.6

	保護者					
	高校1年	高校2年	高校3年	2年-3年	1年-3年	1年-2年
全ての学科とも前期選抜枠100%に設定している学校(16校)	43.7	47.0	34.3	12.7	9.4	-3.3
全体 (129校)	38.8	35.5	34.4	1.1	4.4	3.3

全ての学科とも前期選抜枠100%と定めた学校の生徒で、「1回がよい。」と回答した割合についてみると、前期選抜枠が100%になったときに受検した生徒の方が、「1回がよい。」と回答する割合が高いということがいえる。

全ての学科とも前期選抜枠100%と定めた学校の保護者で、「1回がよい。」と回答した割合についてみると、生徒と同様の傾向がみられる。

6 学区ごとの考察

(1) 学区ごとの人数 (アンケートサンプル数)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	1~3	4~9	全体
生徒	1年	724	1,200	733	561	358	241	222	157	543	2,657	2,082	4,739
	2年	717	1,157	697	533	354	234	218	150	550	2,571	2,039	4,610
	3年	724	1,090	696	539	354	241	204	149	538	2,510	2,025	4,535
	総計	2,165	3,447	2,126	1,633	1,066	716	644	456	1,631	7,738	6,146	13,884
保護者	1年	596	967	617	441	346	232	189	136	476	2,180	1,820	4,000
	2年	605	947	563	413	312	203	195	132	436	2,115	1,691	3,806
	3年	594	871	543	396	307	223	157	140	431	2,008	1,654	3,662
	総計	1,795	2,785	1,723	1,250	965	658	541	408	1,343	6,303	5,165	11,468

(2) 「1回がよい。」と回答した割合

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	1~3	4~9	全体
生徒	1年	21.1	24.1	23.2	24.1	29.9	23.2	32.0	43.9	22.7	23.0	26.9	24.8
	2年	21.9	17.4	20.1	18.9	24.6	19.7	24.3	30.7	21.1	19.4	22.0	20.5
	3年	19.9	17.0	19.1	18.0	23.7	19.9	22.5	36.9	19.7	18.4	21.5	19.8
	総計	21.0	19.6	20.8	20.4	26.1	20.9	26.4	37.3	21.2	20.3	23.5	21.7
保護者	1年	37.9	37.8	35.0	38.8	50.0	37.1	46.0	54.4	29.0	37.1	40.1	38.4
	2年	38.5	32.1	32.3	36.3	40.1	32.5	36.4	43.9	36.5	34.0	37.2	35.4
	3年	35.4	32.3	35.7	26.3	39.4	27.4	36.3	62.1	29.0	34.1	33.6	33.9
	総計	37.3	34.1	34.4	34.0	43.4	32.4	39.7	53.7	31.4	35.1	37.0	36.0

生徒については、ほとんどの学区で、高校3年、2年、1年と学年が下に行くほど、「1回がよい。」と回答した割合は増加傾向にある。また、1~3学区に比べ、4~9学区では、2~3ポイント高い結果となっている。

保護者についても、生徒と同様の傾向がみられ、高校3年、2年、1年と学年が下に行くほど、「1回がよい。」と回答した割合は増加傾向にある。

第8学区の保護者の割合は、他の学区と比べ高い結果となっている。特に、第8学区の3年の保護者の62.1%は、他の学区と比べると、約20ポイント高い結果となっている。

(3) 「1回がよい。」と回答した理由の割合（複数回答可）

- 21：一回で多くの人が合格でき、不合格になる人が減るから。
 22：受験期間を短くできるから。
 23：けがや病気等の対応は別の日程で行えばよいと思うから。
 24：その他

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	1~3	4~9	全体
生徒	21	65.6	57.9	64.1	59.8	59.7	53.3	63.5	57.1	63.5	61.9	60.1	61.0
	22	35.9	41.8	33.6	37.2	43.5	40.7	36.5	34.7	36.5	37.8	38.2	38.0
	23	7.5	10.8	7.2	13.8	9.4	10.0	5.9	8.8	10.4	8.8	10.2	9.5
	24	10.1	9.0	9.5	7.5	5.0	4.7	6.5	4.7	8.7	9.5	6.6	8.1
保護者	21	63.2	66.8	69.8	63.5	66.3	66.7	66.0	61.2	63.5	66.5	64.5	65.6
	22	43.5	43.2	37.2	39.5	34.6	33.3	42.3	32.4	42.2	41.7	37.8	39.9
	23	23.5	22.7	23.6	18.4	18.6	19.2	19.5	23.7	19.7	23.2	19.6	21.5
	24	10.0	7.8	9.5	9.4	6.9	4.7	6.0	7.8	6.2	8.9	7.1	8.0

(4) 「複数回がよい。」と回答した理由の割合（複数回答可）

- 31：第一志望の学校にチャレンジしやすいから。
 32：前期選抜の動向を見て、より慎重に受検校を選択することができるから。
 33：前期選抜受検時に、けがや病気等（インフルエンザ等）があった場合でも、もう一度受検できるから。
 34：その他

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	1~3	4~9	全体
生徒	31	66.9	68.2	66.0	63.1	62.3	62.4	71.9	54.2	63.6	67.2	63.4	65.6
	32	38.3	39.9	39.2	40.0	41.2	37.8	40.9	36.4	40.0	39.2	39.8	39.5
	33	27.1	26.2	24.7	28.2	27.3	29.2	24.7	36.7	27.3	26.0	28.1	26.9
	34	4.4	4.2	3.6	3.8	2.3	1.9	2.7	2.8	2.1	4.1	2.7	3.5
保護者	31	66.3	66.5	63.4	63.6	58.8	59.6	64.7	57.1	60.9	65.6	61.2	63.6
	32	35.2	38.3	38.0	38.3	38.6	37.1	39.0	36.0	40.9	37.4	38.9	38.0
	33	35.4	39.1	39.3	39.3	42.1	38.4	42.9	50.8	37.8	38.2	40.3	39.1
	34	3.4	4.0	3.1	3.6	1.5	0.9	2.5	3.2	2.0	3.6	2.3	3.0